仏像半島

― 房総の美しき仏たち ―

2013年4月16日(火)▶6月16日(日)

休館日　5月7日(火)・5月20日(月)・6月3日(月)
開館時間　10:00-18:00［毎週金・土曜日は20:00まで］
＊入場受付は閉館の30分前まで
主　催　千葉市美術館／読売新聞社／美術館連絡協議会
協　賛　ライオン／清水建設／大日本印刷／損保ジャパン／日本テレビ放送網

展覧会概要

房総の地に仏教文化が及んだのは7世紀後半といわれています。以来豊かな大地と海とを背景に多くの寺院が建立され、多彩な造形活動が展開されてきました。本展は、近年見いだされた諸仏や最新の研究成果を視野に入れ、改めて房総の仏教文化の本質を探ろうとするものです。

展示室に集うのは、房総半島各地から選りすぐられた仏像約150体。関東の白鳳仏としてきわめて重要な龍角寺の薬師如来坐像に始まり、平安前期の森厳な作例を経て、定朝様や鎌倉様式を受容してゆく流れを追う一方で、「七仏薬師と妙見菩薩」「房総の鋳造仏と上総鋳物師」といったこの地ならではのテーマも検証します。また造立当初の雰囲気を再現すべく、小松寺や東明寺、真野寺の諸尊を群像として立体的に配置。いつもの千葉市美術館とはひと味違った、劇的な展示空間を体感していただきます。

日蓮宗の祖である日蓮は安房国（現在の鴨川市小湊）の出身。以来房総の地は法華の傑僧を数多く輩出しています。本展では「法華の傑僧たち」の一章を設け、日蓮をはじめ日朗や日像、日親らにゆかりの彫刻や絵画を多数紹介。その多くは県外からのお里帰りです。

また房総の仏像が一堂に会するこの機会に、波を彫らせたら天下一と謳われた江戸時代の彫物大工、初代伊八こと武志伊八郎信由（たけしいはちろうのぶよし）（1751-1824）の作品を特別展示。石堂寺多宝塔の脇間彫刻16面（ほか）をご覧いただきます。

房総を代表する諸仏のほか、長らく非公開であった秘仏や新出の仏像を数多く含み、房総仏画の優品もあわせた、まさに決定版といってよい内容です。燦々と降り注ぐ陽光と緑深き森、そして豊穣な海―。恵まれた自然に守られ、東国らしい大らかな野趣と意外なほどの洗練を示す房総の仏像たち。その魅力にふれるまたとない機会を、どうぞお見逃しなく！

仏像半島
— 房総の美しき仏たち —

関連企画

■ 記念講演会（事前申込制）

「房総の仏像—鎌倉時代を中心に—」
講師：武笠朗（実践女子大学教授）
6月9日（日）／14：00より（13:30開場）／11階講堂にて／定員150名／聴講無料

［申込方法］
往復はがきに、郵便番号・住所・氏名・電話番号、参加人数（2名まで）明記の上、下記宛までお申し込みください。
〒260-8733　千葉市中央区中央3-10-8
千葉市美術館　仏像半島講演会係
（5月29日(水)必着）※1人1通まで、申込多数の場合は抽選

■ 連続シンポジウム

・4月20日（土）「仏像に見る房総の造形」
パネリスト：濱名徳順（宝聚寺）、瀬谷貴之（神奈川県立金沢文庫学芸員）、石川丈夫（鴨川市郷土資料館学芸員）
司会：馬渡竜彦（妙宣寺）

・4月27日（土）「お寺コンテンツ～寺カルチャーから寺院縁起まで～」
パネリスト：小杉秀文（勝覚寺）、東京大学大学院文化資源学研究専攻、千葉大学デザイン文化計画研究室
司会：京極勇剛（宝金剛寺）

・5月4日（土）「房総が生んだ法華の傑僧たち—日朗、日像、日英、日親—」
パネリスト：中尾堯（立正大学名誉教授）、蓑輪顕量（東京大学大学院人文社会系研究科教授）
司会：濱名徳順（宝聚寺）
＊いずれも14:00より（13:30開場）／11階講堂にて／先着150名／聴講無料

■ 声明公演

・4月21日（日）15:00より天台宗南総教区研修所「天台声明公演–四箇法要–」

・4月28日（日）14:00より 豊山太鼓「千響」

・5月3日（金・祝）、5月26日（日）14:00より 真言法響会「悠久の調べ」

・6月8日（土）14:00より／17:00より 天台宗北総仏教青年会＋邵容（中国琵琶）＋張勇（二胡）「佛の聲を聞く—天台の声明」

＊いずれも1階さや堂ホールにて（開場は開演の30分前）／先着150名
観覧無料

■「Bharatanatyam / 南インド古典舞踊～ロータスの夢」

出演：小田切淳子（南インド古典舞踊家）
5月19日（日）／14:00より（13:30開場）／1階さや堂ホールにて／観覧無料

■ 妙光寺"おひげのお祖師さま"衣替えセレモニー

「おひげのお祖師さま」として親しまれている多古町・妙光寺の《日蓮上人像》（本展出品）。毎年お寺で行われているその更衣式が、特別に美術館を会場に開催されます。
6月1日（土）／11:00~12:00／1階さや堂ホールにて／先着150名／観覧無料

■ ワークショップ

・美術館ボランティア多色摺ワークショップ「散華をつくろう」
5月26日（日）／10:30～12:00、13:00～15:30／1階エントランスにて／参加無料

・立寄りワークショップ「仏像の衣はどうなっている？」
10メートルを超える布を使い、如来形と菩薩形の着衣を実演します。ご希望の方には着付けをいたします。
6月1日（土）／10:30～12:00、14:00～17:00／7階ミュージアムショップ前／参加無料

・親子ワークショップ「すすめ、仏像半島たんけん隊！」（事前申込制）
グループごとに展示室を探検し、仏像の種類やポーズの意味などを考えます。
6月1日（土）／14:00より／８階展示室入口に集合
対象：小学生の子どもととその保護者（2人1組）12組

［申込方法］
往復はがきに郵便番号、住所、２人分の氏名、お子さんの学年、当日連絡可能な連絡先を明記の上、下記までお申し込みください。
（5月22日（水）必着）※1人1通まで、申込多数の場合は抽選
〒260-8733　千葉市中央区中央3-10-8
千葉市美術館　仏像半島たんけん隊係

■ 市民美術講座

「門前の館長、仏像を語る」
講師：河合正朝（千葉市美術館館長）
5月25日（土）／14:00より（13:30開場）／11階講堂にて/定員150名/聴講無料

■ ギャラリートーク

・4月17日（水）担当学芸員によるギャラリートーク　14:00より

・会期中の毎週水曜日 ボランティアスタッフによるギャラリートーク 14:00より（4月17日をのぞく）

＊水曜日以外の平日14:00にも開催することがあります。

注目ポイント!!

◎ 千葉随一の近代建築として知られる、美術館1階の「さや堂ホール」が、展覧会会期中にはカフェ「蓮池茶房byかぼちゃわいん」に変身！仏の慈悲の象徴であり、千葉市の花でもある「蓮」をテーマにした空間で、軽食をお楽しみいただけます。

※さや堂ホールでイベントを行う日は、リハーサル等のためカフェを休業させていただきます。

◎「仏像半島」展オリジナル顔出しパネルを館内に設置、記念撮影スポットとしてお使いいただけます。実際に光背を背負いながら邪鬼を踏み、四天王像になりきることも！

◎「仏像半島」展のためだけのオリジナルグッズをご用意。他では見られない、変わったアイテムも制作中です。乞うご期待！

仏像半島
―房総の美しき仏たち―

観覧料

一般 1,000 円（800 円）／大学生 700 円（560 円）

＊小・中・高校生、障害者手帳をお持ちの方とその介護者 1 名は無料

＊（ ）内は前売り、団体 20 名以上、および市内にお住まいの 65 歳以上の方の料金

＊前売券は、千葉市美術館ミュージアムショップ［3 月 22 日まで］、ローソンチケット［L コード：36528］、セブンイレブン［セブンコード：022-139］、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口［6 月 16 日まで］にて販売。

次回展予告

「彫刻家・高村光太郎展」

２０１３年６月２９日（土）～８月１８日（日）

近代日本の彫刻家を代表する存在である高村光太郎（1883-1956）の生誕 130 周年の節目を迎えて開催される本展覧会では、彼の彫刻家としての原点ともいえる木彫作品を重視するとともに、彼が参照したロダン（1840-1917）をはじめとするヨーロッパの彫刻家、佐藤朝山（1888-1963）や藤川勇造（1883-1935）などの同時代の日本の彫刻家たちの作品と妻・智恵子（1886-38）が制作した紙絵を併せて展示することによって、光太郎の造形世界について再考を試みます。

高村光太郎《柘榴》大正 13(1924) 年
個人蔵（撮影：高村規）

交通案内

千葉市美術館

〒 260-8733 千葉市中央区中央 3-10-8

Tel. 043-221-2311（代）／ FAX. 043-221-2316

http://www.ccma-net.jp

◎ JR 千葉駅東口より

・徒歩約15分

・バスのりば ⑦ より大学病院行または南矢作行にて「中央 3 丁目」下車徒歩約3分

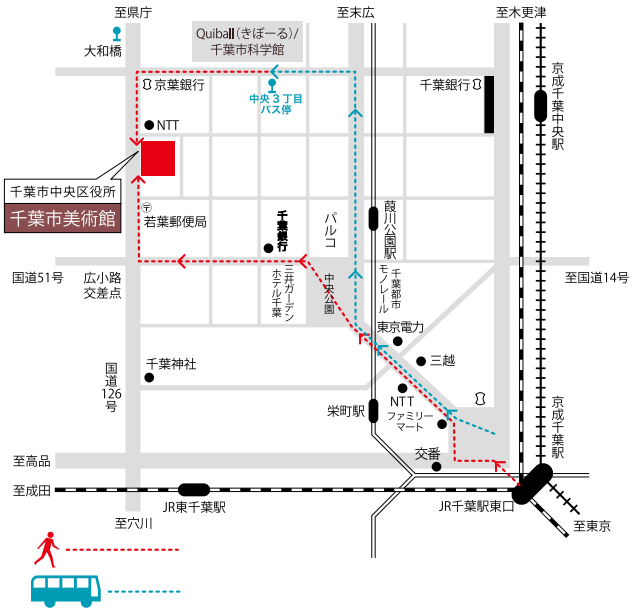
・千葉都市モノレール県庁前方面行「葭川（よしかわ）公園駅」下車徒歩約5分

◎京成千葉中央駅東口より徒歩約10分

◎東京方面から車では京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚 IC 下車国道51号を千葉市街方面へ約 3km、広小路交差点近く

◎千葉市中央区役所と同じ建物です

◎地下に区役所と共有の駐車場がありますが、混雑が予想されますので、なるべく公共の交通機関をご利用ください



展覧会広報用として作品画像をご用意しております。是非、本展をご紹介くださいますようお願いいたします。ご紹介いただけます場合は、別紙の申込書に必要事項をご記入の上、FAX にてご連絡下さい。使用はお申し込みの通り 1 回限りとし、内容をご了承下さい。

仏像半島
— 房総の美しき仏たち —

『仏像半島ー房総の美しき仏たち』　広報用画像一覧

1.
薬師如来立像　平安時代前期
十二神将像　鎌倉時代
ともに東明寺（富津市）

2.
薬師如来坐像
平安時代後期
常燈寺（銚子市）

3.
四天王像のうち広目天
鎌倉時代後期
勝覚寺（山武市）

4.
薬師如来坐像
奈良時代
龍角寺（栄町）

5.
妙見菩薩立像
鎌倉時代後期
東庄町

6.
聖観音立像
平安時代後期
小網寺（館山市）

『仏像半島ー房総の美しき仏たちー』
広報用画像データ・プレゼント用招待券申込書

■ 写真ご使用に際してのお願い

* 作品写真の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
* 写真のご利用は、1 申込について 1 回とし、使用後のデータは破棄してください。
* 恐れ入りますが、基本情報確認のため、広報担当まで一度原稿をお送り下さい。
* 掲載後、広報担当まで見本誌をご送付下さいますようお願いいたします。
* お手数ですが、招待券プレゼントの受付、発送などは、貴編集部にてお願いいたします。
  原則として、掲載紙をご送付いただきました時に招待券をお送り申し上げます。

千葉市美術館
広報担当 行
FAX: 043-221-2316

貴社名 :	媒体名 :
ご担当者 :	発行日予定 :
ご連絡先電話 :	発行部数 :
FAX:	定価 :
Email:	掲載予定コーナー名等 :
画像到着希望日 :　　月　　日　　時まで	画像の掲載サイズ（おおよそで結構です 例：10cm 四方、など）：

■ 画像データ申込（ご希望のデータの番号に○をつけてください。）

1. 薬師如来立像　平安時代前期、十二神将像　鎌倉時代　ともに東明寺（富津市）
2. 薬師如来坐像　平安時代後期　常燈寺（銚子市）
3. 四天王像のうち広目天　鎌倉時代後期　勝覚寺（山武市）
4. 薬師如来坐像　奈良時代　龍角寺（栄町）
5. 妙見菩薩立像　鎌倉時代後期　東庄町
6. 聖観音立像　平安時代後期　小網寺（館山市）

＊上記以外の写真などをご希望の方は、お問い合わせ下さい。

■プレゼント用招待券申込
（ご希望の場合はチェックをつけてください）

□ 5 組 10 名様 希望します。
（それ以外の枚数が必要な場合は別途ご相談下さい。）

チケット送付先
ご住所 : 〒

問い合わせ先
千葉市美術館　〒260-8733　千葉市中央区中央 3-10-8
E-mail : nishiyama@ccma-net.jp（担当学芸員　西山純子 ）
isono@ccma-net.jp（広報担当　磯野 愛 ）
Tel. 043-221-2311（代表）/ 043-221-2313（直通）
Fax. 043-221-2316
HP.　http://www.ccma-net.jp/